

# シニアの学び舎 流山市ゆうゆう大学ニュースレター

Vol 4  
夏号  
.....  
2025. 7. 1

紫陽花が雨に映える季節となりました。ゆうゆう大学の2年次の講義も半分あまりが終わろうとしています。今回のニュースレターは学生さんの感想、様子を中心にお届けします。

## 音楽の授業は新しい発見とチャレンジがいっぱい！ 西本 裕子：中央学園・音楽

選択科目「音楽」で学ぶ基礎知識はよい復習になり、ヨナ抜き音階やバウンスという言葉も加わりました。系統だった西洋音楽の歴史の授業は新鮮で、一方邦楽では、戦争と関わりのある唱歌が多くて意外でした。1年目は歌う機会が少なかったのですが、2年目はしっかりと歌唱指導がある様です。ボイストレーニングが始まり、整体、腹式呼吸、笑顔作りと手を抜けません。ちょっとした先生のアドバイスで歌が突然生き生きとしてくることに驚き感動します。今年度は学習発表会に向けて、皆で良い合唱ができるのを楽しみにしています。



\*ヨナ抜き音階とは：4つ目と7つ目の音がない5音（ドレミファソラシドのファとシのない）で成り立つ音階のこと

\*バウンスとは：8分音符や16分音符を均等に演奏するのではなく、前を長く後を短くするなど「跳ねる」ように演奏すること

## 私の生涯学習の場 松浦 孝志：南流山学園・文学



私は、北海道生まれ、東京の大学の商学部で会計学経営学を専攻しました。本当は歴史、文学を学びたかったのですが、実践的な学問として就職に有利な実学を学び経営管理業務を中心に働いてきま

した。学ぶことが好きで、業務関連の勉強と併せて、歴史・小説、評論本等を多く読みました。これらが私の生涯学習のテーマとなりました。

昨年3月末で45年間の会社員生活を終えました。その折に流山市で募集している「ゆうゆう大学」を知り、高齢者に有意義な講義内容、そして学んでみたかった「文学」（選択科目）に大変興味を持ち、入学することにしました。現役時代に尊敬した上司が70歳前に亡くなってしまい、私も元気なうちにやりたかったことを実行に移すことにしたのです。ゆうゆう大学は博物館見学、郷土史講義、薬草園見学、そして短歌の詠草授業など、自分の身に役立つ楽しい学びの場となっています。

私は趣味の自転車ツーリングを通じ、手賀沼、江戸川、運河沿いを走り、郷土に親しみつつ体力増強に努めています。

これからは、成年後見人としてサポートをしたり、医療・介護などの情報発信を仲間としたり、たくさんのことを学びつつ、「我がまち流山」の高齢者に役立つ活動を続けていきたいと思っています。

## ゆうゆう大学合同講演会では...

「食の人類学」「デジタル遺品」など興味深い講演を開催しています。ご家族ご友人も聴講できます。次回講演会についてはゆうゆう大学HP等でお知らせします。



5/12は「デジタル遺品」  
古田雄介氏が来館しました

## ゆうゆう大学とは

シニアのための2年制大学です。市内6か所の会場で健康、地域史、文学、美術など様々なジャンルを学びます。"流山を知る流山を愛する"をモットーに、ともに学ぶ仲間の輪を広げていきます。詳しくはインターネットで検索

ながれやまゆうゆう大学 🔍

